

実践校に関する事項		
学校区分	学校名	学校長名
	和歌山市立大新小学校	村上 和彌
学校所在地		
〒 640 - 8372 和歌山市新大工町23番地 tel 073(433)1471 fax 073(433)1472		
担当者名	役職名・担当教科	
つちやま 土山 泰弘	5年1組 担任	
<p>〔学校の概要〕</p> <p>和歌山市の中心に位置し、本校の近くには和歌山駅や和歌山市駅があり、交通の便に関してはとても便利な地域である。本校は全校児童135名の小規模校でもある。</p> <p>様々な家庭環境の子供が在籍し、外国籍の保護者も多い、青少年赤十字に加盟し、積極的に活動を行っている。</p>		
研究実践に関する事項		
対象者児童・生徒	学習支援者等（延人数）	主な活動場所
4学年23名 5学年18名	2名 職員 2名	学校 と 和歌山県世界遺産センター
実践研究テーマ		
世界遺産、熊野古道を学び、郷土への理解を深める		
実践教科等名	単元名	
総合的な学習	世界遺産「高野山」みりよく発見	
〔キーワード〕 世界遺産学習 環境学習 情報活用能力		
<p>〔単元目標〕</p> <p>(1) 自分たちが住んでいる和歌山県の世界遺産「高野山」の歴史や文化、自然を調べる活動を通して、高野山のすばらしさを感じとろうとする。（感じる力）</p> <p>(2) 高野山の世界遺産や町づくりにふれることにより、ふるさとの大切さを改めて実感することにより、これからの自己の生き方について考えようとする。</p> <p>(3) 調べたことを新聞や感想文にまとめる活動を通して、相手が読んでどう感じるかを想像しながら、情報を伝えようとする。</p>		
〔学習に当たった全学習時間数（世界遺産学習に関わる時間数及び 学習活動名／教材名）〕		
全体 6 時間 （「世界遺産「高野山」みりよく発見」 6 時間 ）		
〔地域および文化財管理者等との連携の実施状況〕		
和歌山県世界遺産センター・・・世界遺産入門 次世代育成事業（現地学習等）		

実践校に関する事項

〔単元指導計画概要〕

	主な学習活動	学習への支援	評価方法等
1	1. 高野山の世界遺産について調べよう。 2. 高野山の歴史や自然について調べよう。	・社会科の副読本やインターネットを利用して、高野山について新たな気づきや驚きを発見する。また、その中から自分が興味をもったところやさらに調べてみたいことを記録しておく。	(感じる力) ワークシート
2	3. 高野山へ見学に行き、世界遺産にふれる。 4. 世界遺産に関わる人の思いを聞くことにより、高野山という地域への思いを知る。	・世界遺産センターを訪ね、世界遺産について世界遺産マスターより学ぶ。 ・道を作る「道普請」という体験をする。	(感じる力) ワークシート (創造する力) 観察 ワークシート
3	5. 感想文を書く。 6. 高野山の見学や調べたことをもとに新聞にまとめる。	・自分たちが体験したことや感じたことを表す。 ・学習のまとめとして、現地学習で学んだことを中心によりよい新聞を作ろうとする。	(創造する力) 観察 自己評価 (関わる力) 観察 ワークシート

〔単元学習の成果と課題〕

(成果) 世界遺産である高野山の学習を通して、高野山の魅力や高野山の町に興味をもつことができ、主体的に学習しようとする態度が見られた。また、自分たちが住んでいる和歌山県には、世界に誇れる世界遺産があると実感できたことは一番の収穫である。現地の方にお話を聞いたり、自ら進んで質問したりすることで、学習の学びが深くなった。

(課題) 高野山という地域の学習の前に自分たちが住んでいる和歌山市の歴史や自然について詳しく調べておく必要があった。和歌山県という広い枠でとらえるだけでなくもう少し地域を狭く見ることで、「和歌山市と高野山のちがひ」というような視点でも学習できたのではないかと思う。

〔世界遺産学習の効果〕

- (1) 世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」について、調べ学習（聞き取り、図書、インターネット等）を通して興味関心を持てるようになる。
- (2) 世界遺産センターを訪ね世界遺産の概要を学び、道普請を体験することにより世界遺産を守って行こうという活動にふれることができる。
- (3) 世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」で学習したことをもとに、和歌山県の魅力を発見することができる。
- (4) 課題について学習したことをまとめ、聞き手を意識して新聞やノートにまとめたりすることができる。

〔世界遺産学習の今後の方向性及び改善点について〕

和歌山市の学校は高野山まで遠く、私たちの小規模校の学校は、なかなか高野山などのような世界遺産にふれる機会がありませんでした。しかし、今回このような体験をさせていただき本当にありがたかったと思っています。子供たちも和歌山県には世界に誇れる世界遺産があるのだと知ることができ、自分たちの郷土を愛することのきっかけとなったと思います。これからも次世代を担えるような活動を続けていってほしいと思います。子供たちがさらに深く学べるように、紀伊山地の霊場の話などは、小学生向けに分かりやすいDVDなどにしていただけたらと思います。今後どうぞよろしくお願いいたします。

「高野山」の見方が変わった回

名前

高野山にとう着するとそこで待っていてくださったのは、高本山マスターの方でした。マスターさんの話は、とても分かりやすく、これまで行ったことのない場所に行けるので良かったと思います。お堂の中も見させていただけだったので話を聞くだけではなく、体験もさせてもらうのも良かったです。それは道ぶしんの体験もさせてもらいました。この体験で、普段これをしてる人はとても大変だななあと感じました。(王の杖持つの、卑はたすじ)僕はこれまで高野山に3回以上は行ってはいるのですが、今回の体験するだけでも他の事は知りませんでした。しかしこの体験、学習にも通じて高野山の見方が変わりました。とても良い機会になりました。



「高野山の思い出」

名前

10月22日はいろいろな事を体験させていただきありがとうございます。この思い出は、とても大切に思っています。高野山で活動して、色々な事を体験させてもらって、とても良かったです。また、色々な話を聞いて、とても勉強になりました。高野山で活動して、色々な事を体験させてもらって、とても良かったです。また、色々な話を聞いて、とても勉強になりました。



「世界遺産高野山」

名前

10月22日高野山に行きました。そこで世界遺産について教えてもらいました。世界遺産には、自然遺産、文化遺産、複合遺産があります。高野山は文化遺産です。高野山には、多くの文化遺産があります。高野山は、文化遺産です。高野山には、多くの文化遺産があります。



「高野山の人が教えてくれたこと」

名前

道をつくる時に、たこをぐんぐん使うのは、とても大切なことだ。高野山で活動して、色々な話を聞いて、とても勉強になりました。高野山で活動して、色々な話を聞いて、とても勉強になりました。

